

2020年 9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月12日

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所 東
 コード番号 3993 URL <http://pkshatech.com/ja>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)中田 光哉 (TEL)03-6801-6718
 定時株主総会開催予定日 2020年12月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	7,393	141.5	634	△11.9	602	1.7	1,753	327.8
2019年9月期	3,061	103.6	720	20.9	592	0.7	409	△32.9
(注) 包括利益	2020年9月期 1,713百万円 (312.3%)				2019年9月期 415百万円 (△32.0%)			

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
2020年9月期	57.79		55.19		6.5		1.9		8.6	
2019年9月期	15.00		14.05		2.5		3.2		23.5	

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 9百万円 2019年9月期 △35百万円

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%		円	銭
2020年9月期	31,904		27,439		86.0		904.93	
2019年9月期	30,421		26,652		87.6		875.79	

(参考) 自己資本 2020年9月期 27,436百万円 2019年9月期 26,650百万円

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2020年9月期	661		1,969		△1,108		24,137	
2019年9月期	431		△4,141		20,959		22,614	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			百万円	%
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	—

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2020年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	9,000～ 10,000	21.7～ 35.3	760	19.7	700	16.1	350～ 450	△74.3～ △80.0	11.53～ 14.83

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	30,679,400株	2019年9月期	30,430,200株
② 期末自己株式数	2020年9月期	360,049株	2019年9月期	—株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	30,348,762株	2019年9月期	27,337,717株

（参考）個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

（1）個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	1,655	4.4	184	△1.9	354	3.8	1,658	499.9
2019年9月期	1,585	43.1	187	△29.5	341	△4.7	276	△40.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	54.66	52.20
2019年9月期	10.11	9.48

（注）当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	28,225	27,020	95.7	891.13
2019年9月期	26,686	26,290	98.5	863.87

（参考）自己資本 2020年9月期 27,018百万円 2019年9月期 26,287百万円

（注）当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2020年11月13日（金）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

この説明会の資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(企業結合等会計)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、音声解析、機械学習/深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

Mobility & MaaS事業は、Smart City化に向けてリアル空間のオペレーションを智能化させていく取り組みを行っております。画像認識に関わるアルゴリズムを活用した新たなサービス・商品等の開発ニーズを受けて、アルゴリズムソリューション及びアルゴリズムソフトウェアを販売しております。また、IoT機器からリアル空間のデータを収集しクラウドに繋げた上で顧客への製品・サービス提供を行う取り組みの一環として駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を行っております。

Cloud Intelligence事業は、デジタル空間上で行われる処理を智能化させていく取り組みを行っております。アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化・効率化や、オペレーションのソフトウェア化といったニーズに対応するアルゴリズムソリューション及びアルゴリズムソフトウェアを提供しております。

当連結会計年度においては、当社は引き続き特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合を目指す成長戦略のもと、優秀な人材の採用やアルゴリズムのラインアップ拡張、研究開発の加速などの先行投資に注力してきました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,393,669千円(前年度比141.5%増)となりました。これはMobility & MaaS事業において、前期中に買収した株式会社アイテック(アイドラグループ3社は、2020年1月1日付で株式会社アイドラ及び昭立工業株式会社を消滅会社、株式会社アイテックを存続会社とする吸収合併を行っております)が通年で業績に寄与したこと、またCloud Intelligence事業で各種ライセンスの販売が拡大したことによるものです。

営業利益は634,709千円(前年度比11.9%減)、経常利益は602,973千円(前年度比1.7%増)となりました。営業利益が前年同期を下回ったのは、主に期中において成長戦略に基づいた先行投資を実施し、新規事業・ソフトウェア開発に従事するリソースを拡大させたことに伴い、給与等及び地代家賃等が増加したことによるものです。また、下期において新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済の停滞により、事業活動に一部遅延が発生し売上高が押し下げられた事も減益の要因となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は1,753,805千円(前年度比327.8%増)となりました。これは、保有する投資有価証券の減損処理により投資有価証券評価損を特別損失として432,170千円を計上した一方で、投資有価証券売却に伴う特別利益として2,622,221千円を計上したことによるものです。なお、減損処理を行った有価証券は、旅行関連企業へ出資し取得した投資先企業の株式です。また、当期末に一部オフィスの賃貸借を解約したことに伴い、固定資産除却損等を計上しております。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、前連結会計年度より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

(Mobility & MaaS事業)

Mobility & MaaS事業につきましては、株式会社アイテックにおいて駐車場機器の販売が堅調に推移しました。なお、下期における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済により、同社が運営する駐車場の稼働率が低下したことが一部業績の下押しの要因となりました。

この結果、売上高は5,250,259千円(前年度比355.4%増)、セグメント利益は327,004千円(前年度比55.6%増)となりました。

(Cloud Intelligence事業)

Cloud Intelligence事業につきましては、アルゴリズムの活用によるオペレーションのソフトウェア化を進めるニーズが堅調に拡大しております。このような環境の中、アルゴリズムライセンスの積み上げを図るとともに、自動応答エンジン「BEDORE」を中心としたアルゴリズムソフトウェアの拡販を進めました。また、成長戦略に基づいた先行投資を実施し、新規事業・ソフトウェア開発に従事するリソースを拡大させたことに伴い、給与等及び地代家賃等が増加しました。なお、下期における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済の停滞により、一部顧客からのソリューション案件の受注時期が想定より遅延するなどの影響がありました。

この結果、売上高は2,167,414千円(前年度比13.6%増)、セグメント利益は477,493千円(前年度比29.9%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は31,904,686千円となり、前連結会計年度末に比べ1,483,004千円増加いたしました。流動資産は26,199,918千円(前連結会計年度末比1,810,446千円増)となりました。主な増加要因は、現金及び預金が1,522,087千円増加したことによるものであります。また、固定資産は5,655,231千円(前連結会計年度末比293,909千円減)となりました。主な減少要因は、投資有価証券が345,698千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は4,465,646千円となり、前連結会計年度末に比べ696,875千円増加いたしました。主な増加要因は、未払法人税等が613,597千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は27,439,040千円となり、前連結会計年度末に比べ786,129千円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益により1,753,805千円増加したことによるものであり、主な減少要因は、自己株式が957,010千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は24,137,073千円となり、前連結会計年度末に比べ1,522,087千円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は661,313千円となりました。主な増加要因は税金等調整前当期純利益2,706,631千円、減価償却費414,130千円、投資有価証券評価損432,170千円、主な減少要因は売上債権の増加額194,198千円、投資有価証券売却益2,622,221千円、法人税等の支払額392,188千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の増加は1,969,487千円となりました。主な増加要因は投資有価証券の売却による収入2,951,280千円、主な減少要因は投資有価証券の取得による支出459,570千円、無形固定資産の取得による支出308,186千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は1,108,714千円となりました。主な減少要因は自己株式の取得による支出957,010千円であります。

(4) 今後の見通し

2021年9月期につきましては、新型コロナウイルス感染症による社会環境変化を受けたアルゴリズム需要の拡大を見据え、先行者メリットを活かしながら当社アルゴリズムの社会への普及拡大を目指す方針を継続し、事業展開を進めてまいります。

2021年9月期の連結業績予想といたしましては、売上高9,000～10,000百万円（前年度比21.7～35.3%増）、営業利益760百万円（前年度比19.7%増）、経常利益700百万円（前年度比16.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益350～450百万円（前年度比74.3～80.0%減）を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益が減益予想となるのは、2020年9月期に投資有価証券売却益2,622百万円を計上したことによる反動減となります。

当期は売上高及び親会社株主に帰属する当期純利益をレンジ形式での開示としています。売上高については、新型コロナウイルス感染症の当社事業へのマイナス影響が2021年9月期以降はある程度平準化されることを前提に計画しておりますが、コロナ禍の影響範囲及び期間については未だ不透明である事によるものです。また親会社株主に帰属する当期純利益については、期末における繰延税金資産の回収可能性等を現時点で確定的に見積もることが困難な状況にあることによるものです。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,614,986	24,137,073
受取手形及び売掛金	887,003	1,081,201
原材料及び貯蔵品	422,621	398,054
その他	466,901	586,081
貸倒引当金	△2,040	△2,492
流動資産合計	24,389,472	26,199,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	342,896	304,748
土地	643,989	663,802
その他	430,821	327,663
有形固定資産合計	1,417,707	1,296,214
無形固定資産		
のれん	2,066,865	1,936,541
その他	594,916	693,229
無形固定資産合計	2,661,781	2,629,771
投資その他の資産		
投資有価証券	1,601,292	1,255,594
その他	268,357	473,651
投資その他の資産合計	1,869,650	1,729,245
固定資産合計	5,949,140	5,655,231
繰延資産	83,069	49,536
資産合計	30,421,682	31,904,686

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,915	349,504
未払法人税等	261,149	874,746
賞与引当金	52,470	78,747
製品保証引当金	31,966	5,823
その他	648,235	895,629
流動負債合計	1,325,736	2,204,451
固定負債		
長期借入金	2,332,870	2,151,180
その他	110,164	110,014
固定負債合計	2,443,034	2,261,194
負債合計	3,768,771	4,465,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,554,220	18,962
資本剰余金	12,553,220	25,118,740
利益剰余金	1,537,531	3,291,337
自己株式	—	△957,010
株主資本合計	26,644,971	27,472,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,567	△35,085
その他の包括利益累計額合計	5,567	△35,085
新株予約権	2,371	2,095
純資産合計	26,652,911	27,439,040
負債純資産合計	30,421,682	31,904,686

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,061,469	7,393,669
売上原価	1,431,499	4,549,293
売上総利益	1,629,970	2,844,376
販売費及び一般管理費	909,131	2,209,666
営業利益	720,839	634,709
営業外収益		
受取家賃	—	16,541
持分法による投資利益	—	9,770
保険解約返戻金	8,000	—
移転補償金	—	14,985
その他	8,085	10,394
営業外収益合計	16,085	51,693
営業外費用		
支払利息	5,424	29,972
株式交付費償却	11,128	33,533
支払手数料	76,403	1,913
持分法による投資損失	35,567	—
その他	15,770	18,009
営業外費用合計	144,294	83,429
経常利益	592,630	602,973
特別利益		
投資有価証券売却益	32,378	2,622,221
特別利益合計	32,378	2,622,221
特別損失		
投資有価証券評価損	—	432,170
固定資産除却損	251	61,405
その他	—	24,987
特別損失合計	251	518,563
税金等調整前当期純利益	624,757	2,706,631
法人税、住民税及び事業税	256,254	1,127,989
法人税等調整額	△41,487	△175,164
法人税等合計	214,767	952,825
当期純利益	409,990	1,753,805
親会社株主に帰属する当期純利益	409,990	1,753,805

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	409,990	1,753,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,567	△40,652
その他の包括利益合計	5,567	△40,652
包括利益	415,557	1,713,153
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	415,557	1,713,153

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,536,044	2,535,044	1,127,541	—	6,198,629
当期変動額					
新株の発行	10,018,175	10,018,175			20,036,351
自己株式の取得					
資本金から資本剰余金への振替					
親会社株主に帰属する当期純利益			409,990		409,990
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	10,018,175	10,018,175	409,990	—	20,446,341
当期末残高	12,554,220	12,553,220	1,537,531	—	26,644,971

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	2,726	6,201,356
当期変動額				
新株の発行				20,036,351
自己株式の取得				
資本金から資本剰余金への振替				
親会社株主に帰属する当期純利益				409,990
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,567	5,567	△355	5,212
当期変動額合計	5,567	5,567	△355	20,451,554
当期末残高	5,567	5,567	2,371	26,652,911

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,554,220	12,553,220	1,537,531	—	26,644,971
当期変動額					
新株の発行	15,131	15,131			30,262
自己株式の取得				△957,010	△957,010
資本金から資本剰余金への振替	△12,550,389	12,550,389			—
親会社株主に帰属する当期純利益			1,753,805		1,753,805
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△12,535,257	12,565,520	1,753,805	△957,010	827,057
当期末残高	18,962	25,118,740	3,291,337	△957,010	27,472,029

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,567	5,567	2,371	26,652,911
当期変動額				
新株の発行				30,262
自己株式の取得				△957,010
資本金から資本剰余金への振替				—
親会社株主に帰属する当期純利益				1,753,805
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40,652	△40,652	△275	△40,928
当期変動額合計	△40,652	△40,652	△275	786,129
当期末残高	△35,085	△35,085	2,095	27,439,040

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	624,757	2,706,631
減価償却費	141,640	414,130
のれん償却額	35,199	118,046
持分法による投資損益(△は益)	35,567	△9,770
固定資産除却損	251	61,405
投資有価証券売却損益(△は益)	△32,378	△2,622,221
投資有価証券評価損益(△は益)	—	432,170
支払利息	5,424	29,972
株式交付費償却	11,128	33,533
売上債権の増減額(△は増加)	△88,860	△194,198
仕入債務の増減額(△は減少)	61,518	17,589
前受金の増減額(△は減少)	△61,541	104,879
未払金の増減額(△は減少)	12,645	11,539
その他	89,888	△25,612
小計	835,243	1,078,096
利息の受取額	4,975	233
利息の支払額	△5,424	△24,828
法人税等の支払額	△403,244	△392,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	431,549	661,313
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△833,598	△181,530
無形固定資産の取得による支出	△234,918	△308,186
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,055,893	—
投資有価証券の売却による収入	47,858	2,951,280
投資有価証券の取得による支出	△1,043,932	△459,570
その他	△21,241	△32,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,141,725	1,969,487
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,498,435	△181,690
株式の発行による収入	19,957,750	29,986
自己株式の取得による支出	—	△957,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,959,314	△1,108,714
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,249,138	1,522,087
現金及び現金同等物の期首残高	5,365,847	22,614,986
現金及び現金同等物の期末残高	22,614,986	24,137,073

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。したがって、当社グループはサービス別のセグメントから構成されており、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、「Mobility & MaaS事業」はSmart City化に向けたリアル空間のオペレーションを智能化させていく領域、「Cloud Intelligence事業」はデジタル空間上で行われる処理を智能化させていく領域で事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,152,830	1,908,639	3,061,469	—	3,061,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,152,830	1,908,639	3,061,469	—	3,061,469
セグメント利益	210,182	681,489	891,671	△170,832	720,839
セグメント資産	4,313,159	1,745,942	6,059,101	24,362,580	30,421,682
その他の項目					
減価償却費	46,356	95,284	141,640	—	141,640
のれんの償却額	16,755	18,277	34,983	—	34,983
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	99,557	968,959	1,068,516	—	1,068,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,832千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額24,362,580千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等であります。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,226,254	2,167,414	7,393,669	—	7,393,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,005	—	24,005	△24,005	—
計	5,250,259	2,167,414	7,417,674	△24,005	7,393,669
セグメント利益	327,004	477,493	804,497	△169,788	634,709
セグメント資産	5,202,075	2,494,091	7,696,166	24,208,519	31,904,686
その他の項目					
減価償却費	220,621	193,509	414,130	—	414,130
のれんの償却額	99,819	18,227	118,046	—	118,046
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	193,939	295,776	489,716	—	489,716

- (注) 1. セグメント利益の調整額△169,788千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額24,208,519千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の現金及び預金等であります。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2019年7月31日に行われた株式会社アイドラ(アイドラグループ3社は、2020年1月1日付けで株式会社アイドラ及び昭立工業株式会社を消滅会社、株式会社アイテックを存続会社とする吸収合併を行っております)との企業結合において前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第3四半期連結会計期間において確定しております。

なお、取得原価の当初配分額に重要な修正は生じておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	875.79円	904.93円
1株当たり当期純利益	15.00円	57.79円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	14.05円	55.19円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	409,990	1,753,805
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	409,990	1,753,805
普通株式の期中平均株式数(株)	27,337,717	30,348,762
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,837,405	1,428,540
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益、潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。